

令和5年度 銚子市立本城小学校 学校だよりNO27 3月14日(木)

笑顔にあふれ 瞳輝く本城小！！

○中学校でも活躍を！ ～本城小の卒業生として誇りをもって！～

3月14日(木)には、一足早く6年生の修了式を行いました。本城小での小学校生活はどうだったでしょうか。振り返れば、あっという間の6年間だったのではないのでしょうか。

4月からはいよいよ中学生となります。本城小の卒業生として、勉強に運動にぜひ活躍してほしいと期待しています！

【6年修了式 校長式辞より】



とうとう6年生の皆さんは、明日が小学校での最後の1日となりますね。今日は、修了式として、6年生全員に6年の学習内容をすべて終えた証として修了証書をお渡ししました。明日の卒業式では、小学校の学ぶべきもの、すべてを終えたことを認める、卒業証書をお渡しします。そして、卒業にあたっての、はなむけの言葉は明日お話ししますね。

今日は、これまでも何度かお話してきた「友だち」についての話をまた1つします。ちょっと難しいかもしれませんが、頑張って聞いてください。

「親しき仲にも礼儀あり」ということわざがありますが、聞いたことがありますか。このことわざの意味は、「親しい間柄でも、礼儀を守るようにしなくてはならない」というものです。

どうして親しい間柄でも礼儀を守らなければならないかという、親しさが過ぎて、なれなれしくなると、けんかになってしまうことがあるからです。みなさんにも、学校のお友だちだったら我慢するけれど、自分の兄弟だったらけんかになってしまうことがあるのではないですか。それは、兄弟の方が親しすぎて、なれなれしいからです。なれなれしいと我慢することが難しくなりますよね。

だからこそ、けんかにならないように、親しくても相手の人に対して礼儀正しく思いやりの気持ちをもって接することが大事ですよ、と教えてくれていることわざです。

自動車をつくっているHONDA(ホンダ)という会社の前の社長さん、本田宗一郎さんは、世界的にも有名な方でした。本田さんは、人の名前を覚えるのが苦手だったそうです。それで、パーティのときなどは、招待した人の名前を忘れて失礼をしてしまわないように、相手の人の服装の特徴と名前を手のひらにマジックで書いたそうです。

その本田さんが、あるパーティで招待した外国人の方に、その人の名前を呼んであいさつをしました。するとその方は、名前を呼んであいさつしてくれたことにとっても感激しました。ところが、本田さんの手のひらにマジックで名前が書いてあるのが、その人に見つかってしまいました。それで本田さんは理由を正直に答えたそうです。すると、相手の方は、怒るところか、自分の名前を覚えるのに本田さんがこんなに努力をしていたということにさらに感激し、他のお客さんにそのことを紹介したのだそうです。

このお話を聞いて、どんなことを思ったのでしょうか。本田さんの中に気遣い、思いやりの心があり、それが通じたからこそ、相手の方もここまで感激したのではないのでしょうか。

このように、友情とは努力して育てるものだと校長先生は思います。

そして、親しき仲にも礼儀があることをわきまえることで、友情はさらに育っていくことになるのでしょうか。

私たちは、友だちになると仲良くなる努力や相手への思いやりを忘れてしまうことがあります。友情を大切に育てていくためにも、親しいからこそその思いやりや努力をもう一度見直してみたいものですね。

それでは、明日の卒業式、皆さんと共に素晴らしい式にしましょう。



